



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2019～2020年度 RI会長 マーク・ダニエル・マローニー
RIテーマ ローターは世界をつなぐ

クラブテーマ「私たちは風土を大切に守り発展を続けていきます」

会長 山田定男

副会長 加藤正幸 幹事 石井和郎

第1419回例会 2019.7.26(金)晴

司会:藤川智徳君 指揮:藤川智徳君
ローターソング「日も風も星も」

事務所 三島市中央町1-9 小野住環中央ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

[せせらぎ三島ロータークラブ](#)

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 山田定男君



ローターバッジをつけて世界人になりましょう

ロータークラブは世界200カ国以上、クラブの数33,000以上、会員数1,200,000人以上の国際的な奉仕団体です。私も力こそありませんが、その一員です。

さて、現在世界では様々な問題が多く起きています。朝鮮半島問題、イラン問題、ファーウェイ社の通信問題、サムスン社半導体製造問題、等様々な解決していかなければならない問題が山盛りですね。

そこで、ローターバッジをつけましょう、という話になります。ローター会員はローターの目的を理解し、ローターの指針を覚え、法律と文化を大切にします。当然のことながら、他国の土を踏んだ折にもその国の法律を守り、その国の文化を大切にします。ローター会員は慈悲の心を持ち合わせた人たちの集団なので、「自信を持ちつつ驕らず優しく」バッジを付けて行動しましょう。

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	19/33	57.58%	26/33	78.79%
今回	21/34	61.76%	会員総数	35名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

小島君、小林君、篠木君、杉山(順)君、鈴木(俊)君、鈴木(真)君、田中君、土屋君、仲原君、中本君、服部君、山口(雅)君、渡邊君

(*出席免除会員の欠席者 片野君)



スマイルボックス

米山晴敏君:朗報!本日カンボジア王国の領事館が仙台に開所され、田井氏が就任しました。田井氏はカンボジアでのNPO活動を評価されての就任です。そのNPOの後任に仲原さんが就任します。(指名されました)その式典が今行われています。カンボジアから大臣をはじめとして総勢40名が出席しています。利用できるといいですね。参考資料を各テーブルに配布しております。

澤田稔君:欠席ばかりで申し訳ありません。山田会長・石井幹事さん夏バテしないように頑張ってください。

幹事報告

幹事 石井和郎君

①8月の理事・役員会での議案がある方は申し出て下さい。



3年後の自分への手紙発送準備

社会奉仕委員委員長 石井邦夫君



ROTARY NEWS

会長メッセージ

2019年7月

私は大の旅行好きです。ある場所から別の場所へと移動するという、そのありふれた過程が好きなのです。とはいえ、昨年、妻のゲイと私は、どんなに陽気な旅人でもお気楽ではいられないような経験をしました。前の晩には知りもしなかったホテルで目覚め、もう旅行は終わっているはずのその日、立ち寄る予定はなかった空港で6時間も待たないといけないという羽目に遭いました。まったくついていない日でした。

ニューヨークシティのJFK国際空港で待っている間、ゲイとターミナルをぶらついて人間観察をしました。あらゆるゲート、あらゆる目的地、あらゆるフライト待ちの人びとを眺めながら、ターミナルの端から端まで行ったり来たりしました。

どのゲートにも、人びとの島がありました。コンコースの中央を行けばそこはニューヨークで、同じ川の中をみんなと一緒に進んでいきます。しかし、わきにそれてゲートに入ると、川を離れて島にたどりつきます。そこはすでにデリーやパリ、テルアビブなのです。

空港散策に出たとき、私は内心、「こんなにさまざまな人が、さまざまな国から、ひとつの場所に集まっているなんて。まるでロータリーみたいだ」と思っていました。しかし、ゲートをいくつも通り過ぎていくうちに、あることに気づきました。これはロータリーとはまったく違います。この川では、誰もがどこかの島に向かっていて、その島は島でありつづける。台北に向かう人びと同士は話をするかもしれませんが、カイロやラゴスに向かう人びとに話しかけはしないのです。

それに比べて、ロータリーはどうでしょうか。ロータリーは私たちが違いを超えて、深く、有意義な形でつながり合うことを可能にしてくれます。ロータリーに入らなければ出会えなかったような人びと、思ってもみなかったほど自分に似ている人びとに引き合わせてくれます。地域社会や仕事上の機会、私たちの助けを必要としている人びとに引き合わせてくれます。

そういった出会いこそ、ロータリー活動をJFK空港の散策とは大きく異なるものにしていくのです。ロータリーでは、誰ひとりとして島に孤立したりしません。誰であっても、どこ出身であっても、どの言語を話すのでも、どんな伝統を守っているのでも、みんなと一緒にロータリーに参加しています。わたしたちは互いにつながり合っています。地域社会の一員であり、また、クラブ会員だけでなく私たちみんなが属する、地球全体のコミュニティの一員なのです。

このつながりこそ、ロータリー体験の核となるものです。これこそ、私たちがロータリーへと導いたものなのです。これこそ、私たちがロータリー会員であり続ける理由です。ロータリーが世界をつなぐ中、ロータリアンの仲間と一緒に、この旅路に出ませんか。